

半原小学校の インクルーシブ教育について 教育相談コーディネーター



本校では、“インクルーシブな学校”を目指して、日々教育活動を行っています。昨年度よりインクルーシブ教育推進研究校の指定を受け、県内でも先進的な取り組みを行っている学校です。

では、“インクルーシブな学校”とは、どのような学校なのでしょう。“インクルーシブ”とは「包括」「包括的な」という意味があります。半原小学校では、“インクルーシブな学校”を“地域で誰も排除されることなく、全ての子どもが充実した学びを得られる学校”にとらえ、**全ての児童が楽しく学べる学校**を目指しています。

そのために、今までの授業の「当たり前」を見直し、授業改善に取り組むことにしました。特に今年度は次の3つのことに力を入れて、取り組み・検証を進めています。

1. 自由進度学習
2. 学びの保障
3. 多様な支援の手立て



1. **自由進度学習**…児童は多様であるから、学習の仕方も違わず。これまでの授業は学び方を限定しすぎていないだろうかと考え、「どこで」「どのように」「何を使って」学習するかを児童が選ぶ授業を取り入れています。児童が自分に合った学び方を選択することで、主体的に学べるようにしています。

2. **学びの保障**…教室に入ることが難しいため、別室や自宅で学習している児童にも学びの保障ができるよう、オンライン学習を取り入れています。



3. **多様な支援の手立て**…「児童は多様であるから教材も全員同じものではなく、一人一人に合った教材を使うことができれば…」そう考えて、文章を読むことが苦手な児童には読み上げ機能の付いた教材や「ふりがなつき」「文のまとまりごとの線入り」「行ごとに色分け」された教材、漢字を覚えることが苦手な児童には「覚え歌つき」「部品に分けた漢字のたし算プリント」等、自分に合った教材を選んで使えるような手立てを考えています。

これらの取り組みを、学年や学級の発達段階に応じて模索しています。

また、今年度もコミュニティ・スクールの研究校として、半原小学校の児童が安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、地域の方や保護者の方に登下校の見守りや授業のサポート等をしていただいています。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

5学年 キャンプにて (レインボープラザ, 愛川ふれあいの村)

5学年担任

10月8日(金)キャンプに行きました。藍染め体験では職員の方の説明を聞き、作りたい模様を決めて、割り箸や輪ゴムを使ってバンダナをくくって行きました。染料のにおいは、きつかったですが、黄色から緑、最後に藍色に変化する様子に驚きがありました。



ディスクゴルフは活動班にわかれ、決められたコースからスタートしました。子ども達のはじける笑顔が印象的でした。キャンプファイヤーは子ども達自身がチームをつくり、スタンプをしました。音は事前に録音したものを流し、演技やダンスを発表しました。編集にも子ども達が取り組みました。

これからの学校生活でも、友情の火・協力の火・努力の火を心の中で燃やし続けて欲しいです。

1,2学年 遠足を終えて (服部牧場, あいかわ公園)

2学年担任

10月15日(金)に低学年で徒歩遠足に行ってきました。子どもたちは前日から楽しみなようで、「先生、おやつ何にするか決めた?」「楽しみすぎて、寝られないかも!」と、一日中遠足の話で持ちきりでした。当日は学校を出て、服部牧場に向かいました。生まれて初めて馬や牛を見た児童も少なくなかったと思います。愛川公園ではアスレチックを満喫しました。一通り遊ぶとお腹はぺこぺこです。家から持って来たお弁当を青空の下で食べ、美味しさはひとしおだったことでしょう。



コロナ禍の徒歩遠足で、決して楽な道のりではなかったと思いますが、それを楽しい気持ちで乗り切ることができた子どもたちはとても立派でした。4月はまだ幼い印象の残る1・2年生でしたが、半年経ってお兄さん、お姉さんに一歩近づくことができたと思います。



半原小 ホームページ・ブログ QRコード



災害時・緊急時に随時更新中!

<12月の予定>

2日(木) 集金日

3日(金)~4日(土)修学旅行

6日(月) 6年生振替休業

8日(水)~10日(金)教育相談

21日(火) 2学期給食終了

24日(金) 終業式

